

あけましておめでとうございます。

旧年中は、大変お世話になりありがとうございました。
本年も引き続きご愛顧賜りますよう
お願い申し上げます。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、東日本大震災をはじめ、世界中に吹き荒れた金融市場の大嵐の余波を浴びて、日本中が政治的にも、経済的にも大きく揺さぶられました。今なおその後遺症が大きく後を留めています。被災地では、愛する家族を失った方々、家屋、持ち物も仕事も失った方々の悲しみは計り知れません。復興に向かって立ち上がっていく力が与えられますよう祈ってやみません。

そのような中昨年、防災管理点検などを通じて各企業様がハード面においてもソフト面においても様々な防災対策を実施されているのを確認させていただきました。例えば、転倒防止について、転倒し避難障害になったり、災害を防ぐための対策はもちろんのこと、精密な測定器や精密な機械などに関しても事業継続計画の観点より転倒防止などの対策を実施されておられます。また、従業員様への防災教育として消火訓練・避難訓練はもとより、図上訓練（DIG）という手法を全従業員に浸透させ、従業員の方々が防災に対する『気付き』を発見し、各々の従業員の方が災害をイメージできるようになり、防災対策に効果を出されているお客様もいらっしゃいました。

一方、日本政策投資銀行には、「DBJ 防災格付」融資という、防災への取り組みを評価し、その防災格付結果に応じた優遇金利で融資をする制度があります。消防法・建築基準法の防災関係への取組をきちんと行い、事業継続計画も策定されている企業は、災害時の事業中断による利益減少、顧客流出がなく、復旧資金需要の発生もなく、安定供給による競争力強化につながり結果として地域や国全体の経済・社会の安定になるとの考え方だそうです。

このように防災に対するお客様の様々なご要望にお応えするために、弊社では「防災士」（社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のために十分な意識・知識・技能を有する者）の資格者を増やしていき体制を整えてまいります。

『お客様が火災・災害にあわれたとき、損害を最小限におさえるためのシステムおよびソフトを提供できる企業』の方針のもと、人員の増強・システムの充実を行い、最新の消防法のご提供、防火・防災管理のご相談・お手伝い、確実・安心な各種消防点検・工事など、お客様の消防業務のフォローアップに満足をいただけるように充実させていきます。

平成24年1月
初田防災設備株式会社
代表取締役 中前秀夫



「薄化粧」